

2019年8月19日

あやべ市民新聞(1面)に掲載されました

日東精工

新規事業続々

市内初 障害者雇用の子会社設立へ



様々な新規事業などを発表した日東精工の本社(井倉町で)

井倉町に本社を置く工業用ねじなど製造の日東精工(東証一部上場、材木正己社長)はこのほど、障害者雇用のための特例子会社設立やメデイカル(医療)分野への本格参入、中国国内での子会社設立といった複数の新たな事業展開と、第2四半期短期決算(連結)を発表した。うち、障害者雇用のための特例子会社の設立は市内では初のケースとなる。

【四方憲生】

地元から新規採用の予定も

障害者の雇用と障り場づくりを目指し、特前提として設
害者が活躍できる職 例子会社の認定取得を
立されるのは

「日東精工SWIMMY」

「日東精工SWIMMY(スイミー)株式会社」。スイミーの名前は、アメリカの絵本作家レオ・レオニの絵本に由来する。個々の特性や能力が全体の集まりとなり、より大きな力を創造するという考えが込められている。

本社は日東精工本社内に置き、日東精工のダイバーシティ推進室長兼人事総務部長の檀野佳子氏が代表取締役社長を兼務する。事業

内容は文書電子化・データ入力作業のほか、印刷業務や社内配送業務、施設・設備の清掃と維持管理など。会社は来月設立予定だが、厚生労働省からの認定取得が必要となるため本格稼働は来年からになる見込み。従業員は日東精工からの移籍に加え、主に地元からの新規採用も予定しており、日東精工では「障害者の働きやすい環境を整えていきたい」としている。